

## 「やまの健康」への取組についてのアンケート結果

滋賀県では、令和元年度から、森林・林業・農山村(=「やま」)を一体的に捉え、農山村の価値や魅力に焦点を当て、地域資源を活かして農山村の活性化を図る「やまの健康」推進プロジェクトを実施しています。

皆さまからの声をお聴かせいただき施策に関する基礎資料を作成することを目的として、アンケート調査を実施しました。

<参考 URL>

・滋賀県森林政策課「やまの健康」ホームページ

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kankyoshizen/shinrinhozen/310074.html>

★調査時期: 令和4年 10 月

★対象者: 県政モニター297人

★回答数: 244人 (回収率 82.2%)

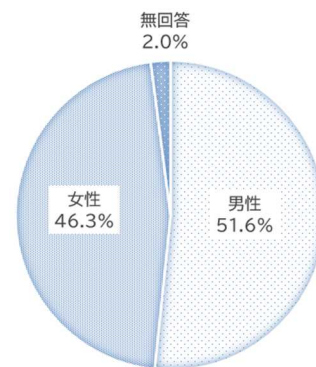
★担当課: 琵琶湖環境部 森林政策課

(四捨五入により割合の合計が 100.0%にならない場合があります)

### 【属性】

#### ◆性別

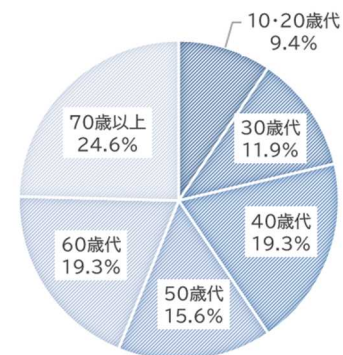
項目	人数(人)	割合
男性	126	51.6%
女性	113	46.3%
無回答	5	2.0%
合計	244	100%



【n=244】

#### ◆年代

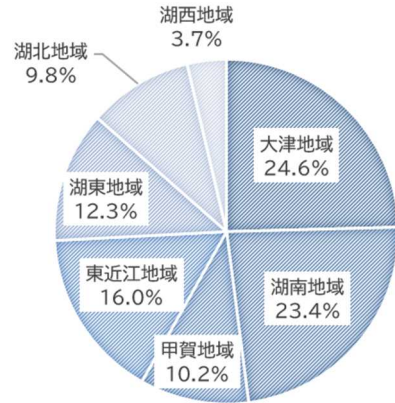
項目	人数(人)	割合
10・20歳代	23	9.4%
30歳代	29	11.9%
40歳代	47	19.3%
50歳代	38	15.6%
60歳代	47	19.3%
70歳以上	60	24.6%
合計	244	100%



【n=244】

◆地域

項目	人数(人)	割合
大津地域	60	24.6%
湖南地域	57	23.4%
甲賀地域	25	10.2%
東近江地域	39	16.0%
湖東地域	30	12.3%
湖北地域	24	9.8%
湖西地域	9	3.7%
合計	244	100%

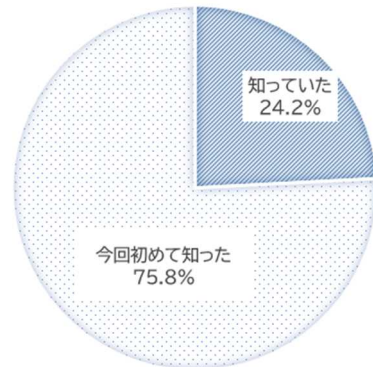


【n=244】

問1 あなたは、「やまの健康」という言葉を知っていますか。

(回答チェックは1つだけ。n=244)

項目	人数(人)	割合
知っていた	59	24.2%
今回初めて知った	185	75.8%
合計	244	100%

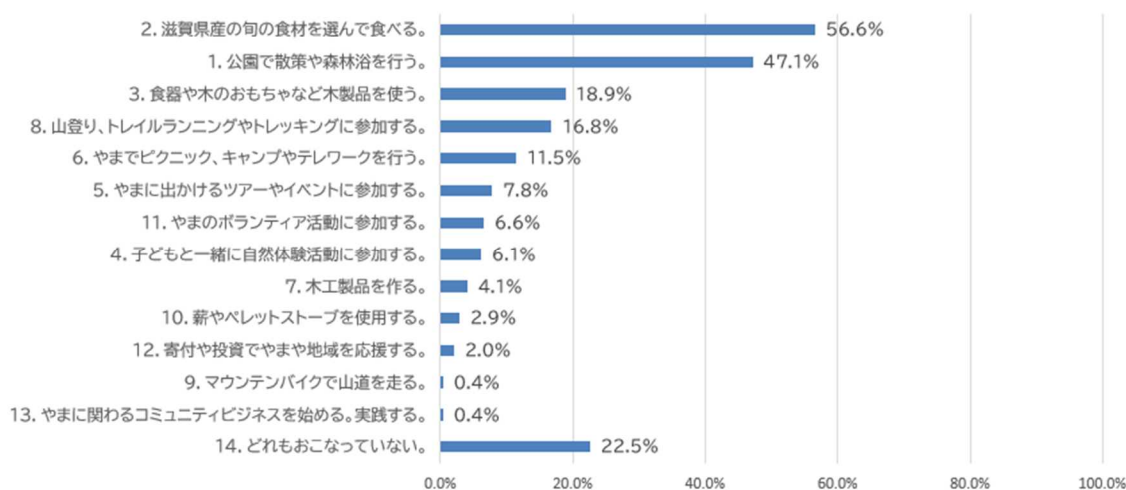


※「やまの健康」推進プロジェクト…

森林・林業・農山村(=「やま」)を一体的に捉え、森林・農地が適正に管理され、多面的機能が持続的に発揮される姿(=やまを健康に)。自然からの豊かな恵みを持続的に享受することで、農山村と都市において、自然と共生する健康で幸せな暮らしを送っている姿(=やまで健康に)を目指したプロジェクト。令和元年度から滋賀県が取り組む。

問2 「やま」に関わる以下の項目について、最近1年間に体験した、実施した項目を選択してください。(回答チェックはいくつでも。n=244)

項 目	人数(人)	割合
2 滋賀県産の旬の食材を選んで食べる	138	56.6%
1 公園で散策や森林浴を行う	115	47.1%
3 食器や木のおもちゃなど木製品を使う	46	18.9%
8 山登り、トレイル(※1)やトレッキング(※2)に参加する	41	16.8%
6 やまでピクニック、キャンプやテレワークを行う	28	11.5%
5 やまに出かけるツアーやイベントに参加する	19	7.8%
11 やまのボランティア活動に参加する	16	6.6%
4 子どもと一緒に自然体験活動に参加する	15	6.1%
7 木工製品を作る	10	4.1%
10 薪やペレット(※3)ストーブを使用する	7	2.9%
12 寄付や投資でやまや地域を応援する	5	2.0%
9 マウンテンバイクで山道を走る	1	0.4%
13 やまに関わるコミュニティビジネスを始める・実践する	1	0.4%
14 どれもおこなっていない	55	22.5%



※1 トレイル・・・森林などの自然にある、舗装されていない道を歩くこと。  
 走る場合にはトレイルランニング。

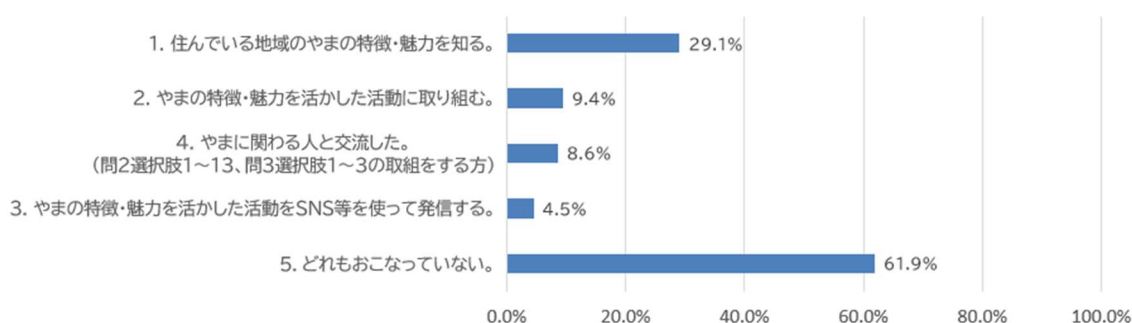
宿泊を伴い、数十キロを歩く時はロングトレイルという。

※2 トレッキング・・・山の頂上を目指すことを目的とせず山を歩くこと。

※3 ペレット・・・木材加工時に発生するおが粉等を圧縮形成した燃料のこと。

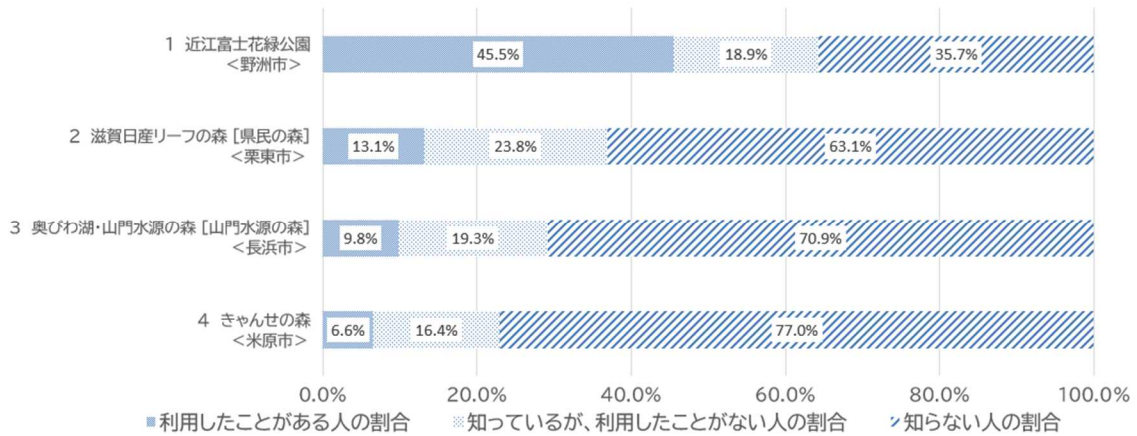
問3 「やま」で取り組む以下の項目について、最近1年間に体験した、実施した項目を選択してください。(回答チェックはいくつでも。n=244)

項 目	人数(人)	割合
1 住んでいる地域のやまの特徴・魅力を知る	71	29.1%
2 やまの特徴・魅力を活かした活動に取り組む	23	9.4%
4 やまに関わる人と交流した (問2選択肢1～13、問3選択肢1～3の取組をする方)	21	8.6%
3 やまの特徴・魅力を活かした活動を SNS 等を使って発信する	11	4.5%
5 どれもおこなっていない	151	61.9%



問4 県では、県民の皆さんに保健休養やレクリエーションの場として県営森林公園を管理しています。県立森林公園の利用について、以下の項目から選択してください。(施設ごとに1つチェック。n=244)

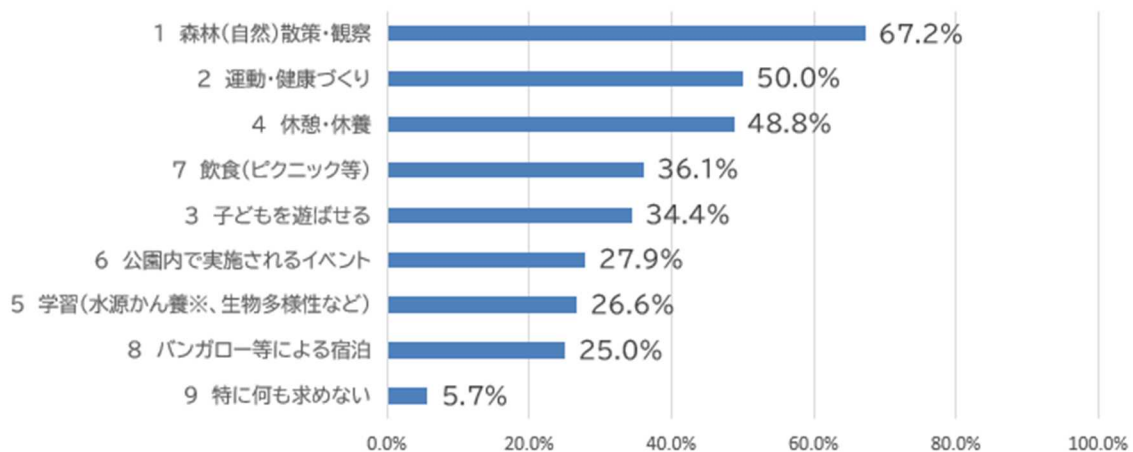
項 目	利用したことがある人数(人) /割合	知っているが、利用したことがない人数(人)/割合	知らない人数(人)/割合
1 近江富士花緑公園 …<野洲市>	111 (45.5%)	46 (18.9%)	87 (35.7%)
2 滋賀日産リーフの森 [県民の森] …<栗東市>	32 (13.1%)	58 (23.8%)	154 (63.1%)
3 奥びわ湖・山門水源の森 [山門水源の森] …<長浜市>	24 (9.8%)	47 (19.3%)	173 (70.9%)
4 きゃんせの森 …<米原市>	16 (6.6%)	40 (16.4%)	188 (77.0%)



問5 コロナ禍において、屋外で3密になりにくい公園の活用が注目されていますが、県営森林公園に求めるものを以下の項目から選択してください。

(「9. 特に何も求めない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。n=244)

項目	人数(人)	割合
1 森林(自然)散策・観察	164	67.2%
2 運動・健康づくり	122	50.0%
4 休憩・休養	119	48.8%
7 飲食(ピクニック等)	88	36.1%
3 子どもを遊ばせる	84	34.4%
6 公園内で実施されるイベント	68	27.9%
5 学習(水源かん養※、生物多様性など)	65	26.6%
8 バンガロー等による宿泊	61	25.0%
9 特に何も求めない	14	5.7%



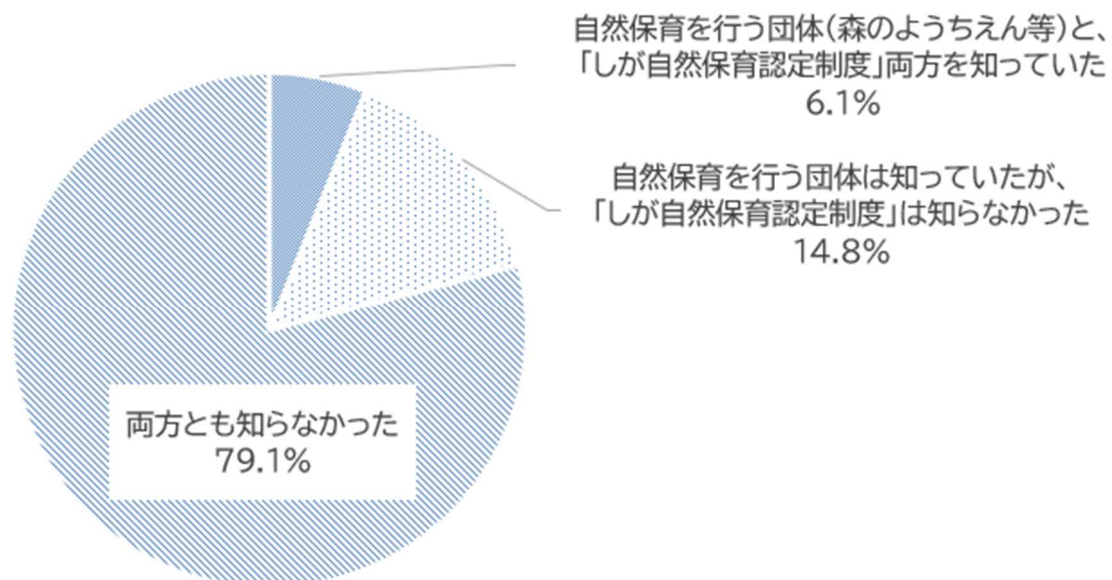
※水源かん養・・・

森林の土壌が、降水を貯留、河川への流れ込む水の量を平準化して洪水を緩和するとともに、川の流量を安定させる機能。

問6 県では、自然体験活動を通して子どもたちの豊かな人間性を育むことなどを旨とした、自然保育を行う団体(森のようちえん等)を支援しており、令和2年度からは、自然保育を行う団体を認定する「しが自然保育認定制度」を創設しました。県内で実施している自然保育について、知っている項目を選択してください。

(回答チェックは1つだけ。n=244)

項目	人数(人)	割合
自然保育を行う団体(森のようちえん等)と、「しが自然保育認定制度」両方を知っていた	15	6.1%
自然保育を行う団体は知っていたが、「しが自然保育認定制度」は知らなかった	36	14.8%
両方とも知らなかった	193	79.1%
合計	244	100%



問7 県では、次代を担う子どもたちが、森林への理解と関心を深めるとともに、人と豊かにかかわる力をはぐくむため、学校教育の一環として、すべての小学4年生を対象に、森林環境学習「やまのこ」事業を実施しています。「やまのこ」について、以下の項目から選択してください。（回答チェックは1つだけ。n=244）

項目	人数(人)	割合
「やまのこ」を知っており、 小学校で「やまのこ」を体験した	25	10.2%
「やまのこ」を知っているが、 「やまのこ」を体験していない	76	31.1%
「やまのこ」を知らなかった	143	58.6%
合計	244	100%

